

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	下呂市	学校名	益田清風高校			
校長名	田中 彰	対象学年	1～3年	人数	176	人
活動名	①地域の地歌舞伎研究（2年） ②地域の民話から探る山の世界研究（2年） ③ふるさと観光案内（2年生） ④観光プランコンテスト（3年生） ⑤天領朝市（3年生） ⑥スイートコーン栽培と商品開発 ⑦地域の観光資源探求（2・3年生） ⑧ふるさと出前授業（2・3年生） ⑨夏祭り清風ストリート（3年生） ⑩地域のボランティア参加（全学年） ⑪地域との連携事業 ⑫商工会青年部との座談会	時間数	160	時間	継続年数	10年
題材	1 自然環境（ <u>山野</u> ・河川・動物・植物・その他） [仏ヶ尾山、萩原御前山] 2 歴史（ <u>出来事</u> ・ <u>史跡</u> ・先人・その他） [雨ごい風俗] 3 文化（ <u>芸能</u> ・ <u>芸術</u> ・ <u>民話</u> ・風習・その他） [竹原の地歌舞伎] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・ <u>その他</u> ） [観光] 5 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [フィールドワーク、ボランティアと企画、小学校との交流] 6 その他（ ） [ ]					
複数年継続するための工夫改善	これまでの総合学科の地歴科・商業科の科目を中心とした学習活動の積み重ねに加え、スイートコーン栽培を始めとした実践とした体験的な活動から生徒の意欲を常に掻き立てるようにした。主体的なアイデアの発信と実践では、地域と連携を取りながら取り組むことができた。本校単体としての取り組みではなく、地域に支えられ地域に学生の働きを還元することで、継続性ある活動になることを目指した。					

## 1 ねらい

本校の教育方針である「地域社会の一員としての責任と役割を自覚し、地域に貢献しようとする態度を育てる」ため、地域と連携したさまざまな学習活動を実践している。昨年度までの地域からの要請に応えるボランティア活動に加え、地域の特産品の商品開発と販売、イベント企画など、地域活性化に向けたより主体的な活動を行うことができた。地域との協力を得ることで連携を深め、幅広く「ふるさと教育」を実践した。

## 2 活動の概要

### 【科目名 社会探求】

#### ①地域の地歌舞伎研究

下呂市竹原地区の伝統的な地歌舞伎について、フィールドワークを中心に地歌舞伎の歴史と大歌舞伎の違いなどについて探求しレポートにまとめた。

### 【科目名 地域研究】

#### ②地域の民話から探る山の世界研究

下呂市萩原町の民話に出てくる山を実際に訪れることで、山と人との関係について考察を深めた。成果はレポートにまとめて発表した。

### 【科目名 観光地理】

#### ③ふるさと観光案内

5月の大型連休中に下呂温泉を訪れた観光客に、ノルディックウォーキングを活用しながら街歩きを楽しんでもらう観光案内を実施した。

#### ④観光プランコンテスト

場所を訪れるのではなく人を訪ねることをテーマに、地域で挑戦する方々へのインタビューとフィールドワークを通じて、地域の活性化をめざす観光プランを提案した。

### 【科目名 課題研究】

#### ⑤天領朝市

6～11月毎週金曜日に萩原町商店街で開催される天領朝市に参加。地元野菜と地域特産品、生徒が商品開発したジェラートの販売と朝市の準備、片付けなどの運営補助に関わった。高齢化の進む朝市に活気をもたらした。

#### ⑥スイートコーン栽培と商品開発

地域でトウモロコシ栽培を体験し、昨年度提案した「下呂にゾッコーン コーンポタージュ」に引き続き、トウモロコシのジェラートを提案し商品化した。地元のブルーベリーのジェラートとともに、天領朝市や様々な地域のイベントで販売し、多くの方から好評をいただいた。

#### ⑦地域の観光資源探求

下呂市にある観光施設の視察やそこで活動される方々へのインタビューを通じて、地域の魅力を改めて確認し、それを発信する力を養うことができた。

### 【英語・数学】

#### ⑧ふるさと出前授業

萩原小学校2年生を対象に夏と冬の2回にわたって高校生の出前授業を実施した。夏は英語、冬は算数の授業を行い、世代を超えた交流ができた。

### 【その他】

#### ⑨夏祭り清風ストリート

地元の夏祭りに、清風ストリートと題して、通りを一区画借り、子供たちが楽しむことのできるイベントを企画。生徒の提案した出店を出して元気な夏祭りを作り出すことに貢献した。

#### ⑩地域のボランティア参加

地域から依頼のあったボランティアに年間を通じて15回程度積極的に参加。地域の活性化に貢献するとともに、生徒も地域で頑張る人との交流を通じて、地域への愛着が深まった。

#### ⑪地域との連携事業

地域から外部講師として講演をしていただき、地域理解を深めるとともに、下呂市との連携により、Instagramを活用した活性化アイデアを高校生が提案した。自分たちのアイデアが実現していく過程を経て、地域をより活性化したいという意欲が増した。

#### ⑫商工会青年部との座談会

地元商工会青年部との座談会により、卒業後の進路をともに考え、将来的に地域で働くことの意義や都会にはない地域の魅力を伝えていただいた。卒業後の就職やUターン就職を悩んでいた生徒にとって有意義な座談会となった。

### 3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

#### 【社会探求・地域研究】

聞き取り調査に基づく作品制作を実施し、地域の歴史を学びながら地域住民の思いや願いを理解し、地域文化を体感することができた。制作作品は各種コンクールに出品し、下記のような評価をいただいた。研究内容は今後、関係HPで公開し、作品冊子にまとめる予定である。

- ・第12回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト（國學院大學・高校生新聞社主催）  
地域民話研究部門〔団体〕最優秀賞、地域文化研究部門〔団体〕佳作
- ・生涯学習視聴覚フォーラム視聴覚作品コンクール（岐阜県社会教育視聴覚連絡協議会主催）  
岐阜県社会教育視聴覚連絡協議会長賞

#### 【観光地理】

下呂市観光課や、地域の人材を講師として招き、生徒を地域全体で育む雰囲気を作り出すよう努めている。フィールドワークに重点を置き、地域で活躍する人へのインタビュー、体験的な活動に取り組んだ。また、作り上げた作品を市役所ロビーに展示したり、地域に成果を紹介・還元している。それらの成果については、「総合学科だより」に掲載し、市内中学校に配布、またHPに掲載し広く紹介している。

#### 【課題研究】

事前学習で地域の人材を活用しながら、地域の魅力と活用方法について学びを深めた。実施した内容については、HPによる閲覧で各取り組み内容を紹介している。生徒自らが地域にでることで、高齢化の進んだ地域に活気をもたらしてくれると評価をいただいている。また、主体的な商品開発や販売活動、イベント企画により、自分たちの力でふるさとである下呂を盛り上げていくよう意識している。その結果、多くの方々にお声かけをいただき地域での世代を超えた交流が深まった。

#### 【英語・数学】

普通教科では、地域での体験的な活動もあまりできなかったが、小学校との交流を通じて、自分たちの学びの成果を発揮する場を設けることができた。また、小学生との交流を通じて、異なる世代とのコミュニケーションの方法、その意義を実感することができた。

#### 【その他】

授業以外の場で有志が集まり、様々な活動に取り組むことができた。多くが学校の外での活動となり、地域で活躍する方々との交流を通じて、教員以外の方々から多くのことを学ぶことができた。特に、自らの体験を通じて語られる言葉は生徒に響くものが多く、地域全体で生徒を育てていただく雰囲気がみられた。

### 4 活動を通しての児童生徒の変容

地域での体験的学習により実感を持ちながら地域理解を深め、地域社会に誇りと自信を持つことができている。いわゆる座学では得られない達成感と充実感を味わう生徒も多く、年を重ねるにつれて、主体的に地域での活動に参加することを希望する生徒が増えてきた。地域研究を重ねることで、今まで無関心であった地域の自然への理解と愛着を実感できた。ふるさとをフィールドとした活動を通じて、普段は親と教員といった大人としか交流のない生徒も、多くの大人と関わることで、社会に対する視野が広くなるとともに、地域を活性化したいという意欲と使命感が芽生えた。また、生徒のアイデアを積極的に発信し行動に移すことで、地域から注目されることも増え、自らの行動を律することの必要性を実感するようになった。